



# News Release

2022年11月24日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北海道支所

## 冬の火災は『ゼロ距離』と『ほったらかし』に注意！ ～電気暖房器具は使う前に点検も！～

### 1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、電気暖房器具（電気ストーブ及び電気ファンヒーター）の事故は、北海道で合計10件ありました。そのうち、火災を伴う事故が8件発生しています。

#### (1) 年度別事故発生件数

年別事故発生件数を表1に示します。

表1 年別事故発生件数（2017～2021年度）<sup>※2</sup>

発生年度	合計
2017年	2(2)
2018年	2(2)
2019年	0(0)
2020年	4(3)
2021年	2(1)
合計	10(8)

#### (2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）<sup>※3</sup>

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	0
	軽傷	0
物的被害	拡大被害	9
	製品破損	1
被害なし・不明		0
合計		10

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 表中の括弧内は火災件数（内数）を示します。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な事件事例

### (1) 電気ストーブ

○2018年1月（北海道、70歳代・男性、使用期間約3年、拡大被害）

事故内容：使用中の電気ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：電気ストーブの上にカレンダーが落下して覆ったため、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「燃えやすい物の近くで使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

### (2) 電気ファンヒーター

○2021年11月（北海道、30歳代・女性、使用期間約2か月、拡大被害）

事故内容：電気ファンヒーターを使用中、電源プラグと延長コードが焦げた。

事故原因：電源プラグ刃の芯線接続部でカシメ不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、発熱・焼損したものと推定される。

なお、輸入事業者は、ホームページに社告を掲載し、対象商品の回収を実施している。

## 3. 電気暖房器具の事故を防ぐポイント

- ① 可燃物と接触しないように距離をとる。衣類などを乾かさない。
- ② 就寝時や外出時に電源コードをコンセントから抜いておく。
- ③ 電源コードの破損がないか点検する。
- ④ 電源コードは踏まない、引っ張らない、折り曲げない。
- ⑤ 定期的に清掃を行い、ほこりを取り除く。
- ⑥ リコール対象になっていないか確認する。

## 4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

### (本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、佐藤

電話: 011-709-2324